

物語を書くための配列

薙刀式

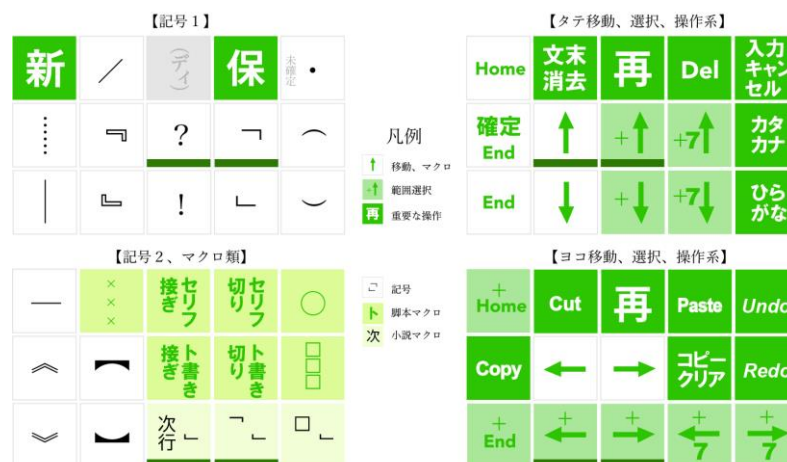
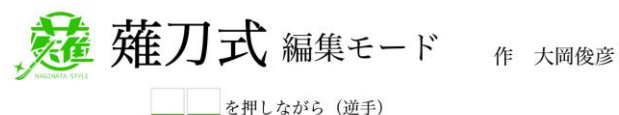
(v16 快速版)

マニュアル

大岡俊彦

カナ配列「薙刀式（なぎなたしき）」は、物語を書くための配列です。脚本、小説をメイン用途として、エッセイやブログなどの文章を射程とします。秒、分単位の短期的速度よりも、日、月単位の長期的な視野で、楽して速く書くことを目指しています（一日5000字〜1万5000字程度の作業量を想定）。

「薙刀」の名の由来は、「長物最強」から。薙刀の術理、「左手で繋ぎ、右手でとどめ」の手の使い方が近い（助詞や接続詞などの繋ぎの言葉が左手に多く、動詞終止形や助動詞が右手に多い）こと、ローマ字配列「カタナ式」のファミリー配列なども命名の理由です。



【薙刀式の特徴】

○カナに使用しているキーが27と、最小範囲であること。指の移動が少なく、楽になり、記憶負荷もカナ配列最小です。30+スペースキーの31キー範囲しか使いません。

○「ある」「ない」「する」「して」「こと」「てき」など、日本語の中核の言葉の接続を高速なアルペジオ運指に当てていること。

○BS、エンター、カーソル、IMEオンオフなどが人差し指ホームからすぐの位置にあり、31キーでカナ入力から文章入力までシームレスになること。

○「編集モード」というショートカットや記号部分を別面に持っているため、31キーでカナ入力、文章入力から文書編集までシームレスになること。

○記憶負荷最小の秘密は、清音50の位置を覚えるだけでよいことにあります。それは「すべて同置」(濁音、半濁音、小書、拗音、外来音すべてが清音と同じ位置にある)という、カナ配列唯一の特長ゆえです。

カナには2文字で1音を表記する文字があります(しよなどの拗音、デイなどの外来音)。また濁音、半濁音、小書きもあります。これらを2キーまたは3キー同時押しを使って1アクションで打てます。

例 し+、||じ し+よ||しよ し+、+よ||じよ よ+小||よ
は+、||ば ひ+、+ゆ||びゆ て+、+い||デイ

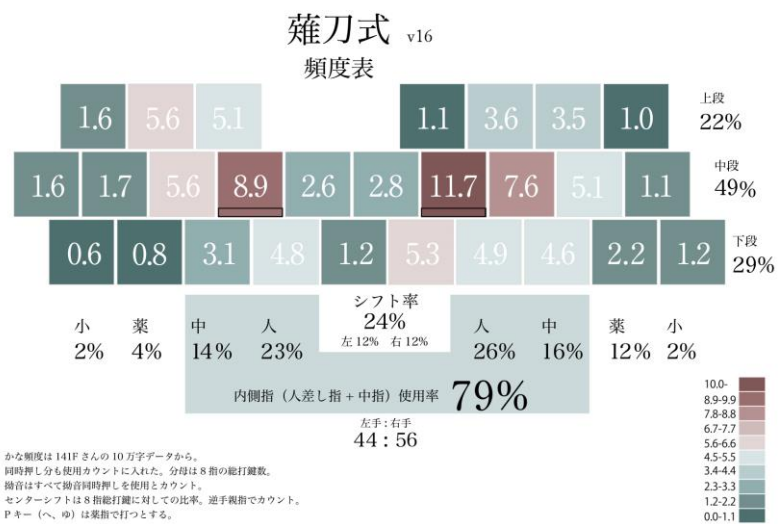
結果、148モールのカナを1アクションで打て、記憶負荷が50清音に収まります。

○人差し指使用率5割、中指使用率3割、つまり中央の指を8割使用。両小指は2%と、極端に少ない。

強い指を積極的に使うことで、長文を書いても疲れないようになっていきます。

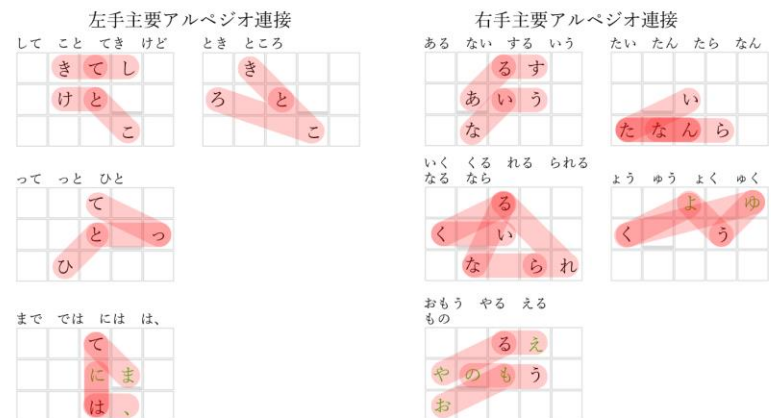
○操作は親指1キー(スペースキー)をシフトキーとして、人差し指のFJやVMなど同時押しする、ミックスシフト形式です。

最大3キー同時押しを使用するため、3キー以上ロールオーバーできるキーボードが必要なこと、プログラミング上の実装が難しいのが玉に瑕。



※ 薙刀式のオリジナル版は、Windows 専用の無料アプリ DvorakJ 上で動作します。
 DvorakJ はレジストリを改変することなく配列を変えます。USB メモリや HDD 上からでも起動できるため、持ち歩いて PC に挿すことも可能です。
 ※ 現在 DvorakJ は更新を停止しましたが、今のところ Win10, 11 で問題なく使えます。
 ※ 有志による Mac 版 (Karabiner-Elements 版、専用アプリ)、自作キーボード QMK 版もあります。その他配列エミュレータ「紅皿」「漢直 WS」にも同梱されています。五章にリンクあり。

○v15fix 版から v16 快速版に変更した理由は以下。
 ・マイナーカナ「め」「み」「む」「ね」の移動。
 「そく」が「みや」化けしなくなった。
 ・「ヴ」キーを廃止して、「う濁音」関係にしたこと。
 ただしヴⅡう＋、＋の例外とした。
 ・編集モードの横書き専用を廃止。
 縦書きでも横書きでも同じものを使えるようにした。



【左で繋いで、右でとどめ】



もくじ

概要

2

第一章 薙刀式を打てるようになるう

6

【レッスン0 システム操作】

6

【レッスン1 右手の心臓部】

7

【レッスン2 左手の心臓部1】

7

【レッスン3 左手の心臓部2、右手の心臓部2】

8

【レッスン4 左手周辺部とセンターシフト】

8

【レッスン5 さらに日本語に近づく】

9

【レッスン6 半濁音、小書き、拗音】

10

【レッスン7 拗音2、外来音】

12

【レッスン8 ラスト8カナ】

15

コラムなど

16

第二章 高速打鍵へのレッスン

17

第三章 編集モード

23

右1面

24

右2面

26

左1面

28

左2面

29

固有名詞モード

33

第四章 全カナ解説

34

第五章 インストールの手順

41

有志によるいろんなプラットフォームでの薙刀式

43

第一章 薙刀式を打てるようになるう

薙刀式のインストール(第五章)が終わったら、以下のレッスンを開始しましょう。縦書きメインなので、以下全て縦書きで解説します。

ブラインドタッチで覚える前提の本マニュアルのレッスンは評判が良く、1週間程度で手が動くようになり、数週間で実戦に出られることが知られています。キーボードは見ないこと。どうしても見てしまうなら、タオルをかぶせる方法が有効です。

【レッスン0 システム操作】

薙刀式中断	Shift+Ctrl+0	もとのキーボードに。
薙刀式再開	Shift+Ctrl+1	薙刀式に。
		(1/0で電源オンオフのイメージ)

英数入力へ (IME-OFF) ……F+G 英語入力。デフォで Qwerty。
かな入力へ (IME-ON) ……J+H 日本語入力、薙刀式に。

エンター	……V+M	ホームキーの下段同時
BS	……U	ホームキーの上段単打

Ctrl` Alt` Win と組み合わせるキー……Qwerty 配列のまま
モデファイアを押しながらのショートカットは、Qwerty のまま使えます。(英字配列も設定で変えられます。五章参照)



右手人差し指ホーム位置の「あ」が入っています。「ああああ」と書いて、消したり改行したりして、基礎的なキーに慣れましょう。

では次ページから、薙刀式の骨格順にカナをマスターしていきましょう。

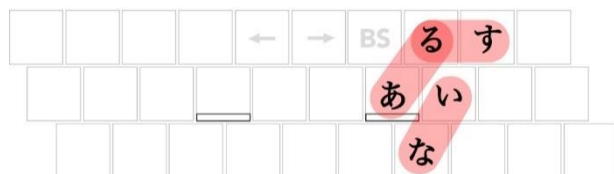
【レッスン1 右手の心臓部】

学ぶこと ある ない する

薙刀式最大の心臓部は、右手ホームを中心とした「ある」「ない」「する」の三大アルペジオ（隣同士の指で素早くタランと打てる組み合わせ）です。存在／非存在／行動の三つの言葉が素早く楽に打てます。

ある ない する
 いない あい いる なる
 あない すい すい なあ なあなあ なす ナイス
 あるある ある ない ない ない するするする

また、変換したときの候補選択は「Y」位置のカーソルで可能です（縦書き）。適宜候補を選んでください。なお横書きは編集モードのカーソルか、通常のカールソルキーを使ってください。



【レッスン2 左手の心臓部1】

学んだこと ある ない する

学ぶこと か て が で 濁音同時押し

左手の「か」「て」を覚えましょう。さらに、濁音を覚えましょう。

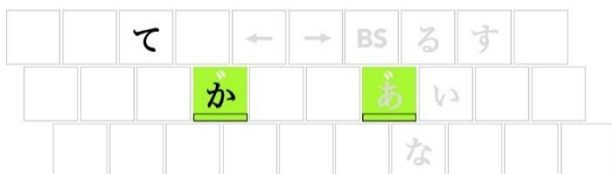
左手の音を濁音化するとき、右手の「あ」と同時押しです。

右手の音を濁音化するとき、左手の「か」と同時押しです。

（これを「逆手同時押し」などといいます）

か が て で ず
 がある である がない でない であい
 です あるです ないです ずるい

薙刀式の同時押しは、「Aを押しながらBを押しても、Bを押しながらAを押してもOK」の方式（相互シフト）です。素早く同時押しでも、ゆっくり順押しでも、「ふたつの押された瞬間があればOK」で判定しています。ゆっくり、早く押して確認してください。



するでない すてる かす すかすか ずかずか かずかず ずかずか
 ずるずる 勝てる 勝てない 出る 出ない

【レッスン3 左手の心臓部2、右手の心臓部2】

学んだこと あるかないする かて 濁音同時押し
学ぶこと ことし たうん

より日本語的になります。

ことし ご ど じ

ただ うん こと して

してる している してある してない していない
すること した したこと したことがある したことが
ない することがない することがある

いう うん いうんだ なんだ なんだい

こういうこと こういうことがある こういうことがない

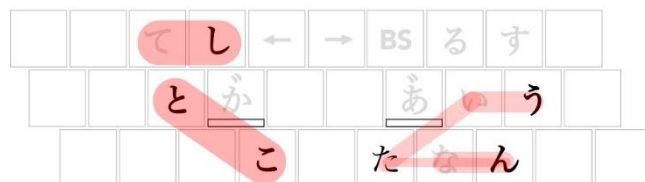
こうである こうでない しかない しかない

こんなことがある こんなことがない

こうだ してた うんだ いうんだ するんだ

しんだ とんだ したがう したがうんだ 書かない

書かないことがある どうする どうだ だんだん



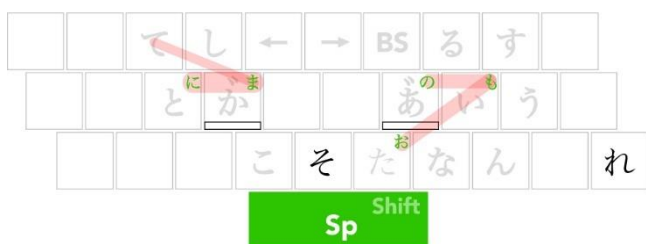
【レッスン4 左手周辺部とセンターシフト】

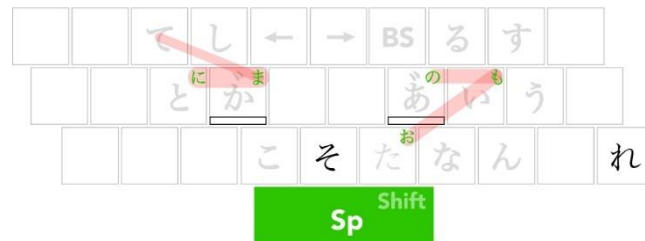
学んだこと あるかないする かて 濁音同時押し ことし たうん
学ぶこと センターシフト にま れそ おもの

センターシフトを学びましょう。スペースキーがシフトキーを兼ねています (Sands: Space and Shift)。スペースキーを、「単独で押して離すとスペースキー、押しながらほかに何か押すとシフトキーになる」と設定してあります。常に有効で、英数時に大文字や記号にすることも可能です。

右手でシフトしても左手でシフトしてもよく、これをセンターシフトといいます。おすすめは「逆手でシフトする」(右手のキーを押すときは左手親指でシフト、左手のキーは右親指で) ようにすると、疲れにくくなります。

重要なことは、押しっぱなしで複数の入力に効くこと(連続シフト)です。濁音同時押しとは違い、「先に押して、押しっぱなしにしておく」ことが必要です。親指の構造は他の指と違うので、慣れると無意識に使い分けられます。

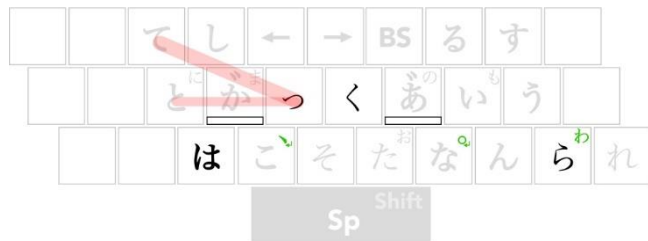




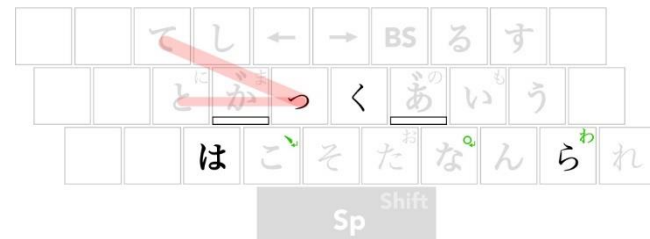
ものまにまにものもの
 (シフト押しっぱなしで連続させても、打つたびにシフトを押し
 てもいいことを確認してください)
 まにあうますまにあいますしますますますまずまず
 まずないまずいうまいここにあるここにな
 れこれそれどれあれ
 おももの思うもう思うもの
 のだなのだそうなのだ魔物煮物大物ものがある
 それがどうしたあれがこうなのだそうだと思う
 だがそうでないそれにこうだどれにするなにもない
 これにそれもないああ言うがそうだなと思う
 そのことがこうなるなんてあのことがそうなるなんて
 などなどになる男女
 までまでにでものでにでの
 それまでにあしたまでにだがこうなので儲かるので
 でもそうなんだこれでももしかし

【レッスン5 さらに日本語に近づく】

学んだこと さらに日本語に近づく
 あるかないするかて濁音同時押しことし たうん
 センターシフトにまれそおももの
 つくわはら。(句読点)



って っ と った
 あった だった とった いった かった そつと
 わくわくする わたし わたしがいう そく くそ
 あなた あなたとわたし
 しくじる すくすく くわしい 我々 我々と私
 それは それはどうかな これはどう それはどれ
 わたしはバカだ
 発したこと 罰したこと 爆弾 その場逃れで言い逃れ
 思う思わない こういうとは思わなかった
 それは思わなかった そうしてはどうか こうすればいいのに
 ら したら られた られる ならば ならない
 それから そこから来る だから ですから
 いうことがあるがそれはこれから次第だ
 していることがあるなら言うことだな



そうだなそうしたら あったまに来るなあ
では には とは のは られた れば られれば
ではどうか そこにはあるかも 恥です してはる

句読点を学びましょう。

シフト「こ」が「、」、シフト「な」が「。」です。

また、句読点は「句読点＋確定」です。「、」「。」まで打って変換するのではなく、句読点直前まで書き、変換し、よければ句読点確定で次へ行くスタイルです。

これなら、いくらでも。ああ。こうしていこう。

そうなるか。な、なにい。していますが、なにか。

「た。」「は、」など、日本語の接続に基づいた配置になっていることが分ると思います。

【レッスン6 半濁音、小書き、拗音】

学んだこと あるかないする か て 濁音同時押し ことし たうん

センターシフト にま れそ おもの つくわ はら、。

学ぶこと きみ を よ ゆ やー 半濁音 小書き

薙刀式のウリのひとつは拗音同時押しですが、その前に拗音のパーツになる一文字目（イ段カナ）と、やゆよを先にマスターします。

きぎみを よ ゆ やー（長音）

効かない 効く 効く時

的な 的に 指摘 来て とき ときどき

見ない 見る 見る時 来てみる

余裕 猶予

あー うー トーク シート ニート

きみ きみがいい きみがいる それどき

出来る 出来ない 出来ないことがある 出来ることから

要するに 内容 内容があることとないこと ようやく

そのようだ このような 悠々 ゆくゆくは

半濁音を学びましょう。逆手の人差し指下段（V）と同時押しです。

は ぱ ば 半端 ばんばん パンパンに パート バター

小書きは、**ㇿ**と同時押しです。実用上は次の拗音同時押しを使いますが、緊急用です。

や ゆ よ あいうお わ

まずはこれのために拗音を作ってみましょう。

しようがない しようがない 写真 宿題 今日

なお、PQは薬指推奨です。とくにP位置の「ゆ」は薬指で打つとやりやすいですよ。
いよいよ薙刀式のウリの、拗音同時押しです。

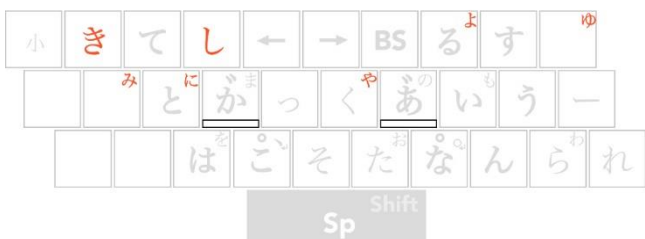
【拗音同時押し】

左手のイ段カナと、右手のやゆよ（のあるキー）と同時押しで拗音。
さらに濁音キー、半濁音キーと3キー同時押しで濁拗音、半濁拗音。

「一文字目の音と二文字目の音の同時押し」と覚えてください。
最初は手が忙しいですが、一旦覚えると覚えやすく、使ったことが
ない組み合わせでも類推可能です。

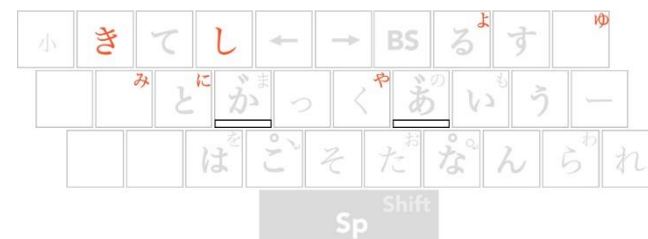
出現頻度は、よゆゃの順です。「ゃ」がやや難しく、（標準運
指とは異なる）人差し指中指で取るのがおすすめです。

薙刀式の「同時押し」は、「Aを押しながらBを押す」でも「Bを
押しながらAを押す」でも認識します（相互シフト）。3キー同時も
同様で、「3つのキーが同時に押されている瞬間があればOK」です。



し しよ じ じよ しゆ じゆ しや じゃ
き きよ ぎ ぎよ きゆ ぎゆ きや ぎや
しよ じよ しゆ じゆ
きよ ぎよ きゆ ぎゆ
によ にゆ にや みよ みゆ みや

「にゃ」行、「みゃ」行では、「に」「み」はシフト側の音ですが、シフトを押しながら打
つ必要はありません。同じキーの中に拗音になる音が一つしかないので、一意に決まるか
らです。これを「拗音に関して排他的配置」と呼びます。



ショート シュート シャーク ジョーク ジューク
 キュート ぎやーぎやー しょうがない しょうがない
 じゃあ、逆に
 でしょう なるでしょう あるでしょう ないでしょう
 写真 宿題 今日 今日から 今日からは
 師匠 事象 笑止 障子 少々 上々 少女 処女 症状
 上司 市場 初志 女子 所持 辞書 証書 序章 教師 司教
 自供 教示 帰郷
 虚偽 義侠 将棋 常軌 行事 状況 商業 漁業 漁礁
 社会 弱点 尺邪悪 客 逆 逆に
 趣旨 終始 刺繍 重視 樹脂 習字 従事 縮 塾
 主観 主君 主義 手記
 九州 九十 十九 授業 牛耳る 休職 住職 給仕 休止
 牛乳 尿 収入 乳業 巨乳 入賞 女性(によししょう)
 脈 妙な ミヤンマー

拗音同時押しをするとき、たとえば「しる」と「しよ」、「とる」と「によ」を打ち分けられるようにしておきましょう。最初の音を「離してから」次を打つと「同時に押している瞬間はない」ので、打ち分けられるようになります。

【レッスン7 拗音2、外来音】



学んだこと あるかないする かて 濁音同時押し ことし
 たうん センターシフト にま れそ おもの
 つくわ はらゝ
 きみ をよ ゆやー 半濁音 小書き
 拗音同時押し
 学ぶこと りひち ほふけつ え 外来音
 拗音に使われるカナなどを、まずマスターします。
 り ひ ち 理科 陸 なりたい あります 倫理
 近い たち たちが悪い 地区 知己 知識 知的
 昼 開く 左 ひれ びれる 悪びれる 悪びれない
 引く 引つ張る 悲喜こもごも 悲観的
 ひりひりすること
 ほ ふ け つ え

濁音、半濁音に関する排他的配置……「ふ」「つ」はシフトカナですが、1キーに濁音化するカナ、半濁音化するカナは1つしかなく、一意に決まるため、シフトキー不要です。

ぶ ぷ つ づ げ ぼ

いける いけない 逃げる 投げる けど だけど だけ

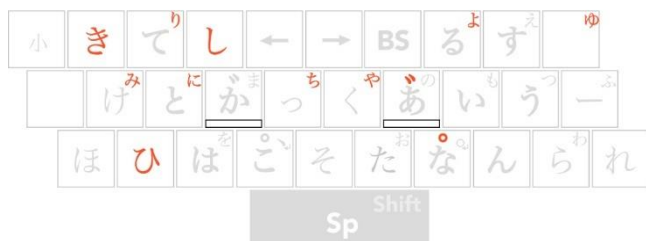
方法 その方が ぼっと出 プールする 文章 一分(いちぶ/いっぶん)

部分 分解 ぶくぶく ぶくぶく ぼくぼく びくびく びくびくする ブイブイ

使う 使わない いつも ついつい ツンデレ つづく 続ける

える 思える 考える 入れ替え 帰る 前 あいうえお

拗音になる第一音は、イ段カナに決まっています。つまり、「きしちにひみり」しかありません。これとやゆよ、濁音、半濁音が組み合わせられるだけです。日本語のすべての拗音は以下です。実際に打ってみましょう。



き	き	き	ぎ	ぎ	ぎ
し	し	し	じ	じ	じ
ち	ち	ち	ぢ	ぢ	ぢ
に	に	に	に	に	に
ひ	ひ	ひ	び	び	び
み	み	み	み	み	み
り	り	り			

ぴやぴゅぴよ は非常に押しにくい配置です。とくにぴやは難しい運指を要求されます(やは人差し指、は中指推奨)。しかし、「ぴや」が出る日本語は、八百と六百しかないのではぼ使いません。

象徴 強調 頂上 上長 調教 丁々発止 中小 嘲笑 着任
 着々 ちゃんと ちよつと 着色 仲介 注意 注釈
 明朝 了解 留意 少量 了承 略 以下略 虜囚
 評価 表紙 評判 商標 表象 日向 百人 百回

「ぴやぴゅぴよ」の半濁音拗音をとくに練習しておきましょう。

ぴやぴゅぴよ 八百人 ピューマ コンピューター ピュア
 ピューリタン 発表 信憑 病氣 病的 白夜 誤謬 何百回
 六百 三百 八百

拗音以外のカタカナ二音で表記される、ティやファなどを外来音といいます。

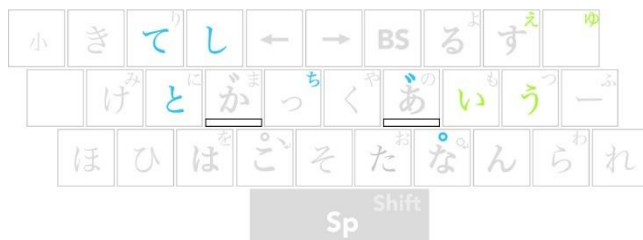
【外来音同時押し】

清音 一文字目の音＋半濁音＋二文字目の音

濁音 一文字目の音＋濁音＋二文字目の音

外来音は常に3キー同時押しです。使用2音までは同じですが、プラス半濁音（清音）または濁音（濁音）と、3キー目が常に必要としました。（むかしのバージョンの薙刀式では2キー同時押しでしたが、頻度の割りに誤打が多く、3キー同時に改めました）

【左手一打＋右手二打】



ティ デイ トウ ドウ
 テュ デュ シェ チェ ジェ ゼエ
 ティー パー ティー ティー パー ティー ティアドロップ
 デイスる デイレクター デイストピア ハンディキャップ
 テイルトウノーズ インストウルメント アンドウ ドウワップ
 トウドウリスト チェック チェック チェンジ チェス
 デューク フォンデュ プロデューサー テュルク
 シェフ シェル ジェット ジェル シェル シェパード
 ダイジェスト ガジェット クリシェ

とつさに打てないことが多いので、第一文字目を押しながら、半濁音または濁音を押しながら、第二文字目という押し方が楽ですよ。

【右手二打＋左手一打】

ウィウエウオ イエ ツア（ツア行はツアのみ）
 ファファイフエフオフユ
 クアクイクエクオクワ
 グアグイグエグオグワ

（エやオを含む同時押しは、ホームポジションを崩したほうが打ちやすいです）

ウォーキング ウォール街 ウィークポイント ウィークエンド
 ウィンドウ ウェーブ ウェスト
 イエルサレム イエール イエーツ イエーイ
 ファイル ファクション ファイルド フォント フェイク
 フェステイバル ファクト ファンタスティック
 フェードアウト フェーチャー フェージョン
 パンツアー ツアイガルニク効果 ツアーリボンバー
 クオリティ クォーツ クォーク クエーサー クイック シークワーサー グアバ

ヴァ行は、ヴァヴィヴェヴォヴに關しては、「う」の濁音ですが、「ヴ」のみ、「う＋
ナー」という例外としました。薙刀式唯一の例外です。

クリスマス イヴ ヴアラエティ ヴィーナス ヴオルテージ ヴォリューム
ヴェール オーシャンビュー インタビュー ヴィヴァルディ

これで全ての薙刀式のおおむねのカナを打てるようになりました。
ほとんどの1モーラ発音が1アクションで打てること、すべての清音を覚えれば、あとは同時押しでの組み合わせですべてのカナを一発で打てる、薙刀式の特徴がわかったかと思
います。打ったことがない音、忘れたものでも、組み合わせで打てるのが特徴です。

【レッスン8 ラスト8カナ】

へ ろ せ め さ ね む ぬ

あとはマイナーな出現頻度のカナたちです。
これで50音がそろいます。



どこへ行く 変なひと 全て 別々 そうするべきだ
だろう 労働 朗読 論点 ろくでもない ドロー どろどろ
セット 選択 可能性 性質 せいぜい せっかち 全然
ためには はじめる 初めて やめる めでたい せめて
最高 最初 殺人 ざっと 雑 さんざん 様々 目覚める
させる させられた 寒い 寒々 朝 いざ
熱 インターネット だよね だよね。 だよねえ。 かもね。
ですよ。 猫 だろうね。 ねえ エネルギ―
昔 無理 ミニマム むずかしい 無敵 群れ 無用 昔々
盗む 塗る 死ぬ ぬるぬる 解せぬ 絹 脱ぐ スード

おつかれさまでした。これにてレッスンはすべて終了です。
実戦に出て、よちよち歩きで文を書いていきましょう。

【薙刀式で打てる全カナ一覧】

清音50 濁音20 小書き9 拗音33 外来音36 計148

覚えていないもののチェックリストに使ってください。赤字はマイナーなので、咄嗟に打てなくてもヨシ。

あいうえお	あいうえお	あいうえお			
かきくけこ	がぎぐげご	きや	きゆ	きよ	ぎや
さしすせそ	ざじずぜぞ	しや	しゆ	しよ	じや
たちつてと	だぢづでど	ちや	ちゆ	ちよ	ぢや
なにぬねの		にや	にゆ	によ	ぢゆ
はひふへほ	ばびぶべぼ	ひや	ひゆ	ひよ	びや
まみむめも					びゆ
や ゆ よ		やゆよ			びよ
らりるれろ		りや	りゆ	りよ	
わ を ん		わ			
っ ー 。					

シエ	ジェ	チェ	ヂエ		テイ	デイ	テユ	デュ	トウ	ドウ
ファ	ファイ	フェ	フォ	フユ	ウイ	ウエ	ウオ	イエ	ツア	
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ	ヴユ					
クア	クイ	クエ	クオ	クワ	グア	グイ	グエ	グオ	グワ	

【ブラインドタッチを覚えるコツ】

人によりますが、一週間から三週間程度で大体覚えて、一か月から二か月程度で実用入力速度の秒2カナくらいに到達します。三か月から半年程度で、以前使っていた配列の速度に匹敵するか、超えるでしょう。一週間でマスターした、という例もあります。

他のカナ配列に対して、薙刀式はとも早く覚えられる配列です。文字のつながりが良いため、接続単位で覚えるからです。これまでのレッスンが単独カナではなく、よく出る単語単位で練習していたのも、その原理です。

暗唱できる短いもの、たとえば俳句や歌詞を打つのがいい練習になるでしょう。また、道行くときに目に入った言葉をエア打鍵するのもいいですよ。

第二章 高速打鍵へのレッスン

ある程度打てるようになったら、以下のマイナーカナを中心に練習しておく、手が咄嗟に動くようになり、中級者レベルになれると思います。また、高速打鍵はおいといて、第三章の編集モードを先にマスターしてもOKです。用途に応じてご利用ください。

ふ、ぶ、ぷ

でぶになろう 部分的なこと プロ 露天風呂 久しぶり

ブーイング サブウェイ 不細工 風林火山 ランデブー

プロレス プロフェッショナル ハプニング ブラスバンド

ブラスバンド ブザービーター プログラミング

シヨップ プレッシャー 部位 一分 十分（じゅっぶん、じゅうぶん）

クリスマスイブ ロープウェイ ラップ コップ トップ 不思議な事

そんなふうに 日もとつぷり暮れて プロフィール

ブロック フロッグ フラッグ

ほ、ぼ、ぼ

方法論 某局 忘却 ポーズ 信奉する 滅びる 滅ぼす

ぼろぼろ ぼろぼろ ホーロー鍋 一本取られた ポン酒

日本村本男児 日本語 がんばれニッポン ポリテイカル

ポートルート ポップカルチャー スポーツ ポーランド紛争

ポテト そっぽを向く 尻尾が見えているぞ しっぽくうどん

僕 ぼったくり 暴走族 ほぼこれで 坊主 防水 防災 防風

国防 妨害 望外 防災センター ファンタスティック ポリンキー

せ、ぜ

セントラル せいぜい 税金 贅沢 ぜひと 是非是非

日銭 枷 風 せつかくの 絶世の 絶対 絶対的な

女性 男性 高校生 光合成 形成 整形 南西 世間

宣言 石鹸 牽制 制限 税源 世代別 セーフ 風船

へ、べ、ぺ

別に 別々 ツベルクリン 部屋 やべえ へえ 平凡 紙幣 蔑視 ペイロード

ヘリコプター 疾病 そうするべきだ べき論 減っている そこへ 兵隊

ベストポジション スペース スペースキー へしゃげる ペット可 シベリア

ペンディング 三平 はんぺん ぺんぺん草も生えない 送別会 別解

利便性を考えた 勉強してきます 餞別 せんべい ヘルファイヤー

ペーター ㇿ すべてのことがうまくいく

ヴ系

ヴィクトリー ヴィクトリア エンヴィー ヴィーナス
ホテルヴィーナス ヘヴン ヴァラエティに富む
ヴェスパ ヴォーグ ヴォリューム アールヌーヴォー
ヴォルテージ ヴェイロン サバイヴ クリスマスイヴ
イヴォンヌ ぐぐぐと泣いた

半濁音の強化練習

スピード スポーツ スパ スペース スプーン
プロデュース プロダクト プロパティ プロバビリティ
プルーン プレイ プラン ピーブル シュプール スパーク
プリント パール ピーマン ポール ペーター
パンピー ペーペー パイナップル プルプル ペリー ペット
ポール ポート ピーポー パーティー ピーク ビーム
バリケード パーティー ポートピア ピア ピック
ペリ 川つペリ ペンディング ポール パール ピーク

人差し指内側キーの濁音のむずかしさ ぐだぞ(ぢ)

続々 糞と具足 ぐだぐだ 断続的に 存命 存続
相談事 たそがれ そうだぞ 想像 想像だぞ
ぐいぐい行くね サイトシーイング キングクリムゾン
ぢぐじょう 家族 暴走族 たけし軍団 勝てば官軍
グラフィック 円グラフ アメリカングラフィティ
グツと来る グッドです セーフティゾーン

左手マイナーキー

下段 何気ない さりげない 芸術 現象 経験 権限 年輪
寝床 そうだね するとね だよね その懸念がある
それはどうかね 見つけてみると 見ている やってみて
激しい 彼の気配がする 君の背中には羽がある 方法論
げほげほ 骨がある 無駄骨 警報 朝寝坊 ミポリン
ホーミー 何を言ってもけろっとしている ひげ 悲劇
目立ちたがり 見目麗しい 見た目 メキシコ

拗音徹底練習

少々 上々 少女 上昇 徐々に 諸処 諸条件 初秋 収集 十週 十回 十回目
 序章 終章 重症 重要 受賞 首相
 所長 主張 酋長 象徴 嘲笑 助長
 宗教 主教 授業 商業 行商 教授 今日中 状況 急所 吸収 週休
 ぎゅうぎゅう 牛乳 仰々しい 強調 宮中 級長 窮状 上級 十九 中級
 超級 超下級 ちょうど今日
 社会人 客観的 主観的 却下 静寂 逆転 究極 極端 解釈 救急車 集合体
 重合体 勝者 車掌 車上 注射 注釈 出勤 手術 既出 出現率 後述
 出生 救出 出社 述語 出版社
 隆々 略式 少量 省略 略称 主流 急流 狩猟 受領
 百姓 表象 出勤表 発表 八百 誤謬 米百俵 病状 標榜 指標 飄々
 瞬間的 一瞬 一巡 準々決勝 瞬間接着剤 瞬間湯沸かし器 着々 メチャクチャ
 逡巡 執着 終着点 評価表 白蓮教徒 流出 種種類類 金銭授受
 女房役 進入禁止 鍾乳洞 主義主張 集中力 尺貫法 若干名 集客力 超能力
 超常現象 処理能力 逆転勝訴 略式結婚 対症療法 主客逆転 余裕綽々
 未成年略取 緑化事業 中庸主義 中級者 上流社会 危機的状况 救出劇
 しゃんしゃん じゃじゃじゃーん びゅんびゅん きゅんきゅん ぎゅんぎゅん
 ちゃんちゃん にやあにやあ みやあみやあ みゅうみゅう 脈々
 ショートカット シヤープネス シュート ポジション ジャマイカ ジョギング
 ジョーカー ジャンプ キュート レスキュー リキョール キャッチアップ
 ギヤップ チャット チャンス チョイス デチューン
 ヒュースティック ヒューマンエラー プレビュー ビューティー ペーパービュー
 インタビュー ヴューワー インタヴュー フューチャー フュージョン
 フォービュートイフルヒューマンライフ スタジオミュージシャン ミュージカル
 コミュニケーション コミュニター シミュレーション ミューズ
 ニュース リニューアル

【薙刀式段位】

どれくらいの速さがどれくらいのレベルで、どれくらいの時間がかかるんだろう？を、一覧表にしてみました。

白帯 第一章のマニュアルを終えるまで（三日〜一週間）

茶帯 三級 〓秒1カナ 配列図が不要になるレベル（一週間）

二級 〓秒2カナ ツイッターくらいは打てるレベル

一級 〓秒2・5カナ ゆっくりなら普通に打てるレベル（〓一ヵ月）

黒帯 初段 秒3カナ 〓 実戦を全て薙刀式でやるレベル（一〓三ヶ月）

二段 700字（変換後）／10分 または秒4カナ

三段 900字（変換後）／10分 または秒5カナ

四段 1200字（変換後）／10分 人に教えられるレベル

五段 1500字（変換後）／10分 僕がこころへんです（数年）

六段 1800字（変換後）／10分

七段 2100字（変換後）／10分

八段 2400字（変換後）／10分

九段 2700字（変換後）／10分

十段 3000字（変換後）／10分 アナウンサーの喋る速度

【いいエディタの勧め】

僕はIText（無料）を愛用しています。アンドゥ機能などが弱い、古い時代のもですが、古いぶん機能が少なく、テキストを打つだけだと最速クラスに軽いです。縦書きが可能なエディタは、豊富な機能の一つとしての縦書き対応のため、よけいな機能のせいで遅いものが多いですね。

エディタ（テキスト編集のみのソフト）とワープロ（印刷用のレイアウトを作るソフト）は分けて考えたほうが効率的です。軽いエディタで試行錯誤し、ワープロで入稿形式に整形するべきでしょう。Microsoftの標準ワープロWordは、長文（十万字以上）用エディタとしては重すぎます。TATEditor（無料）もやや重いですが、整形ソフトとしてはきれいです。キーボードをペンとすればエディタは原稿用紙です。軽いものをつかうべきです。

【初段への道1 センターシフトの練習】

センターシフトは原理上どちらの親指で打ってもよいのですが、バランスを考えると、両方の親指を同程度に使うべきです。薙刀式では、右手も左手もシフト率12%なので、逆手シフトに統一すると使用頻度は左右対称になり、これを推奨します。

また、連続シフト時に、「左手のシフト文字から右手のシフト文字に連続する」（またはその逆）ことが時々あります。これを「ワタリ」と呼ぶことにします。ワタリがあるときは、最初にシフトした逆手が途中で同手になることがあります、やや打ちづらいともいえます。連続シフトをやめて複数シフトを逆手で打つか、同手シフトのまま打つかは、各自のやりやすい方で打ってください。

以下、ワタリの例（傍線部）です。練習してみてください。

まのわるい したいのはやまやまだが のちに なみにもまれる 周りに まわり道
もちろん 世話係 せつめいしよう 嫁入り 始めよう ごりよう そこよりも
さりげない 襟を正す やむを得ぬ お味噌汁 峰打ち ふみんしょう 詰め物
かわりに お前 落ちる おにく 押せ押せ 眠い 物まね ふまん えにし
ふにんさき 闇 飲み 揉み 見分ける 罪 見つける 三宗（みむね、人名）
見ようとする よみがえる 見える さみだれ 弓矢 おめでとう ふめいよ 夢
オリジナル 振り仮名 ミニマム

【初段への道2 同じキーの連続】

同じキーで、単打↓シフト（またはその逆）が続くと、とっさに打てなかったりします（傍線部）。ここで練習しておきましょう。

あのこと そのあとに やきいも 思いがある うつくしい 通勤 フード カーブ
その夜 ここにいるよ 末広がり エスカレーター ゆべし
オタク 倒れる お題 それな。 一年 残念 わらう わらわれる
構える 任せて 曲がる 我慢 ほんとに 二兎を得る 二度見
逃げ道 三毛猫 ゼロ セロリ ロゼ ちつとも どっち ちよつと チェック
照り返し ありてい 手料理 デリバリー めし じめじめ
歯を抜く それを測る 場をつなぐ 夢想

【初段への道3 ロールオーバーと離し入力】

たとえばローマ字を打つのが速くなると、ロールオーバー打ちが増えてきます。ロールオーバーとは、「あるキーを押して、離さずに次のキーが押される」ことです。同時押しのないローマ字入力ではロールオーバー上等でガンガン打って行けますが、薙刀式ではそうできない部分があります。

たとえば「しる」をロールオーバーすると、同時押しと認識されてしまい「しよ」に化ける現象があります。これは同時押しを「どちらかを押しながらも一方を押す」に定義しているからです。「し、離す、る」を徹底するとそれはなくなります。原理上致し方ない部分なので、化けがちな組合せでは離し入力を徹底して無意識化してください。とくにメジャーなこれらは注意です。

しる↓しよ かあ↓が きる↓きよ してる↓しりよ とる↓によ
こな↓エンター かす↓ず はなす↓ばす

v16ではv15にあった「そく↓みよ」の化けがなくなりました。メジャーなものはカナの移動によってひとつずつ工夫していますが、移動して打ちにくくなっては本末転倒なので、なるべく化けをなくしつつ運指の良さをキープする、という実用上のバランスになっています。

【初段への道4 同時押しのバグ？】

ときどきDvorakJの処理が追い付いていないことがあって、同時押しをしたときに、どっちかの音が「押されたまま」になってしまうバグがあります。その音をふくむ同時押しをすれば離し入力が発行されて、もとに戻ることが多いです。再起動する前にお試しを。編集モードでも起こるので注意。

第三章 編集モード

薙刀式は、文字を打つ配列だけではありません。文書編集用のショートカット、マクロ、よく使う記号を集めた「編集モード」があり、全体で「薙刀式」です。

作 大岡俊彦



薙刀式 編集モード



を押しながら（逆手）

【記号 1】

新	/	（アイ）	保	未確定・
⋮	⌞	?	┐	（
	⌞	!	┐	）

凡例

- ↑ 移動、マクロ
- +↑ 範囲選択
- 再 重要な操作

【記号 2、マクロ類】

—	× × ×	セリフ 接ぎ	セリフ 切り	○
≧	【	ト書き 接ぎ	ト書き 切り	□ □ □
≧	】	次行 ┐	┐	□ ┐

- 記号
- 脚本マクロ
- 次 小説マクロ

【タテ移動、選択、操作系】

Home	文末 消去	再	Del	入カ キャン セル
確定 End	↑	+↑	+7↑	カタ カナ
End	↓	+↓	+7↓	ひら がな

【ヨコ移動、選択、操作系】

+ Home	Cut	再	Paste	Undo
Copy	←	→	コピー クリア	Redo
+ End	+ ←	+ →	+ 7 ←	+ 7 →

右手は選択編集系、左手は記号マクロ系です。
（今回のV16は、縦書き横書き共通の編集モードを使えるように整理しました）
編集モードは2面あります。人差し指中指中段（D+F, J+K）を押しながら逆手の1面と、下段（C+V, M+）を押しながらの2面です。コントロールキーのような感覚で2キーを押しながらショートカットなどを発行します。「D+F」を押しながら次々に右手のキーを押すなどのように連続使用動線が整理されています。

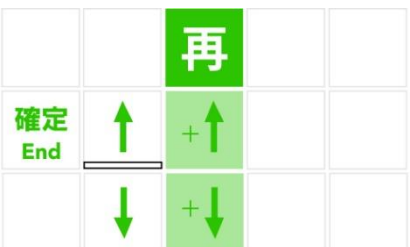
○ 右1面 D+F+右手

レッスン1……再変換系列

【上下移動】【上下選択】【再変換】

(以下は縦書きメインで解説します。横書き用は次の2面にあります)

上下移動して、選択した範囲を再変換します。再変換は、すでに確定した文字を「変換後確定前」に戻す機能です。D/Fを押しながらすべての操作が一連でできます。



(例文練習) ご変換を直す。

仮に「誤変換」が「ご変換」と誤変換されたとします。一文字ずつ戻り、「ご変換」の部分を選択して、再変換して、正しい「誤変換」に直してみてください。

【確定エンド】 再変換してそれでOKとして、かつ以前書いていた位置にもどるときに使います。この一連の動作が、もっともよく使う、再変換の動線です。

(例文練習) 夜空の向こうには

の、「向こう」の送り仮名を「向う」や「ムコウ」に再変換、元の場所に戻ってください。

(例文練習) 貴社から汽車で帰社しました。

帰社するには貴社の汽車が良いと思います。

記者が汽車に乗って帰社しました。

を打ってみて、間違ったら戻って誤変換を直してください。

もちろんこの【カーソル上下】、【シフトカーソル上下】は、変換中の【文節移動】【文節伸縮】に使えます。

(例文練習) きょうはいしやにいった。ここではきものをぬいでください。

を入力して、文節伸縮をうまく使って、以下のように二種類に変換してください。

今日は医者に行った。／今日歯医者に行った。

ここでは着物を脱いでください。／ここで履物を脱いでください。

レッスン2……ホーム、エンド、文末まで消去

Home	文末消去	再	Del	
確定 End	↑	+↑	+7↑	
End	↓	+↓	+7↓	

【ホーム】【エンド】 ちょうど確定エンドを挟む位置にあります。
【末尾まで消去】 ざっと消去するときに便利な機能です。薙刀式のBS位置の裏にあるので、覚えやすいでしょう。【ホーム】から【末尾まで消去】の動線のつながりの良さに注目してください。これで一行消すことが簡単になりますね。

Home	文末消去	再	Del	
確定 End	↑	+↑	+7↑	
End	↓	+↓	+7↓	

【Del】 カーソルのあとを一文消します。カーソル位置によってはBSよりいい時があります。

【7文字選択】 大量に選択するときに使えます。また、文字方向に大移動して細かい移動は上下を使う、という使い方もあります。7文字移動キーの代わりに使ってください。

Home	文末消去	再	Del	入力キャンセル
確定 End	↑	+↑	+7↑	カタカナ
End	↓	+↓	+7↓	ひらがな

【カタカナ変換】【ひらがな変換】 変換中の注目文節を、カタカナ、ひらがなに変換します。F7/6, Ctrl+I/Uに相当する機能です。カタカナ変換は固有名詞などに使い、ひらがな変換は漢字にしたものをひらく（すべてひらがなにする）のに便利です。

Home	文末消去	再	Del	入力キャンセル
確定 End	↑	+↑	+7↑	カタカナ
End	↓	+↓	+7↓	ひらがな

（例文練習） マクスウェルは彼女に言った。夜空のむこうにはの、「マクスウェル」や「むこう」の部分は、カタカナ変換やひらがな変換を使うと楽です。仮に思い通りのものでないもので確定してしまったあとでも、もどって再変換すると楽に文字種を決定できます。

【入力キャンセル】 入力した文字列を、入力前の何もしなかった状態に戻します（Shift+Escを3回発行して、入力後変換前／変換中／候補ウィンドウ表示時のどの状態でも入力前に全戻しします）。手元がごちゃついたときや、書こうとしたけど、やっぱやめたときなどに使えます。

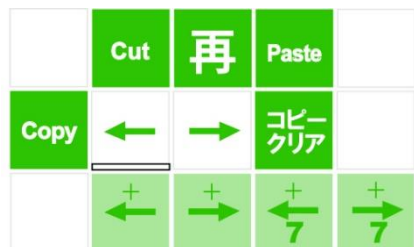
（例文練習） 以下の文を書きかけ、書くべきではないと思い、キャンセルしてください。

君のことが好きです 死んじまえくそ野郎 ご報告があります 犯人はヤス

○ 右2面 C+V+右手

横方向のカーソル類、コピー、アンドウ系が入っています。

レッスン3……横移動、選択、コピー系



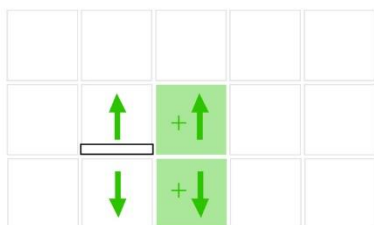
縦書きの場合は行方向の移動、選択です。横書きの場合は、文字方向の選択、移動、変換中の文節移動、伸縮に使います。

縦書きや横書きを固定してマスターしたうえで、もう一方向を練習するのを勧めます。

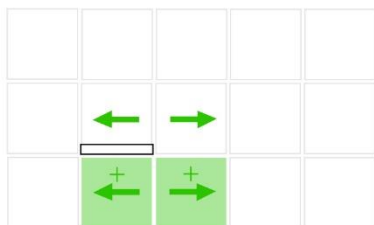
また、横書きでも同じ面を押したまま移動選択して再変換しやすいように、2面にも再変換が入っています。

カットはBS位置にあるので覚えるのは容易でしょう。カットとコピーが人差し指に入っているのは僕のこだわりです。

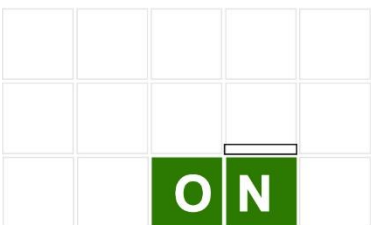
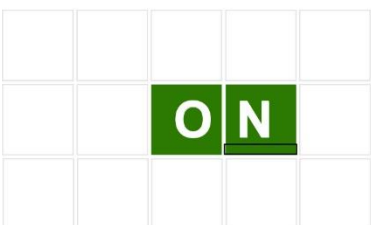
移動、選択が自在にできると、もはやキーボードのカーソルキーが不要になり、30キーの範囲だけで操作ができるようになります。



(例文練習1)すでに書いてある適当な文章を開いてください。自由な位置へ移動する練習をしてください。思った言葉の語頭、語尾に移動してください。



(例文練習2)その文章の任意の言葉を選択し、カットしてください。次に任意の位置へ移動して、ペーストしてください。同様に、文単位をカットして好きな位置に移動してペーストしてください。



(例文練習3)好きな部分を選択して再変換してください。

【コピークリア】 コピー領域に意図しないものがコピーされたときに、それをクリアするショートカットです。実際にはクリップボード（コピーされたものが順番に格納されているところ）はクリアできないため、「二文字の空白をコピーする」という機能が入っています。なのでこれをしたあとペーストをすると一文字空白が出力されます。

何に使うかというと、「大量の文字をコピーしたとき」です。

段落やページ単位で切り貼りすることが文書編集ではしばしば発生しますが、これを力つけないしコピーしてペーストしたあと、まだその長文がクリップボードに残っているため、うっかりペーストを押ししまうと二度ペーストされる事故が起こり得ます。これを避けるため、いったんコピー領域をクリアしておこう、という意図です。

なお、Win+Vでクリップボード履歴を出せますが、マウスでしか操作できないので注意。

レッスン4……アンドウ、リドウなど



【アンドウ】 1面の「入力キャンセル」の裏です。

【リドウ】 アンドウの下でペアと覚えてください。

【ホームまで選択】【エンドまで選択】 これも1面の裏です。選択するときに便利です。ご利用ください。

○ 左1面 J+K+左手

左手は記号、マクロ系です。記号は最後の【・】の例外を除き、すべて「確定」が入っています。「確定」。「確定」のように使うことを想定しています。何かを書き、確定代わりに使うことで確定の一打を省けます。

レッスン1……カッコ類、基本記号類

☐の場所はE+J+Kが外来音の「デイ」のため不使用です。その他は、よく使う記号が入っています。

	／	（デイ）		・ 未確定
…	『	？	「	（
—	』	！	＝ 「	）

【カッコ類】 「〇」が入っています。

（例文練習） 「これ」がよい。いける（無理）。『引用』によると、

【？】【！】 確定入りです。「確定」同様、確定代わりに記号で終わらせる想定です。

（例文練習） なんてだ？ 「こうだ！」 なのか？

【……】【——】 小説や出版系では、三点リーダー「……」とダッシュ（ダーシとも）「——」は二文字単位で一つという慣習です。

（例文練習） 「なんてだ……？」 【注意！——この先危険】

ダッシュ記号はフォントやエディタによって、見え方が変わる可能性が高いです。横書きでOKでも縦書きで表記がおかしくなるとか、エディタ上はOKでもpdf変換するとおかしくなる、などのバグが潜んでいることが多いです（おそらくエディタ作者がそのまま日本語表記法に詳しくないと考えられます）。執筆時はとりあえずこれを使いつつ、あとで一括置換をかけて正しい原稿に直す確認をすることをお勧めします。

【／】 区切り記号に。記号類は読みからも変換できますが、「スラッシュ」からの変換は面倒なので、これが入っています。

【・】 ナカグロ記号です。これのみ確定を入れていません。外国人名など、一気に入力してカタカナ変換したいときがあるからです。「バック・トゥ・ザ・フューチャー」とか。

（例文練習）

シヤア・アズナブル マイケル・ジャクソン （一気に入力してカタカナ変換）

ビッグ・ザ・武道 （適宜変換しながら）

レッスン2……保存、最新位置



【保存】 こまめな保存は癖にしておきましょう。Ctrl+S でもよいですが、左薬指が痛くなるので、丈夫な人差し指にバインドしてあります。

(例文練習) 作詞家の気分になって、こまめに保存してみましょう。

○の入っているところで保存してみてください。

ちっちゃな頃から悪ガキで○ 十五で不良と呼ばれたよ○

ナイフみたいに尖っては○ 触る物みな○傷つけた○

【最新の位置へ】 ファイル末尾へ移動するショートカット Ctrl+End ですが、原稿を書いている途中に戻って直して、また末尾へ戻る、という使い方が多いので、「最新の位置へ」と名付けておきました。

○ 左2面 M+N+左手

左2面は脚本用マクロ、小説用マクロ(いずれも縦書き用)がメインです。それ以外の、カッコ類について先に解説しておきます。

レッスン3……その他カッコ類

【スミカッコ】 タイトルの強調などに使ってください。

(例文練習) 【悲報】 【今すぐ!】 【解説】

【一 ≪ ≫】 青空文庫のフリガナ記法と同じ記号です。対応するエディタ上(たとえば TATEEditor、小説家になろうのサイト)で使うと任意の所にフリガナがふれます。

記法1 漢字 ≪ふりがな≫ 漢字

記法2 一 漢字かな交じり ≪ふりがな≫ 漢字かな交じり

(例文練習) 青空文庫記法対応エディタで、以下のふりがなをつけてみてください。

ハードラック ダンス
不運と踊っちまったぜ あいうえお 俺のものは俺のもの 山田太郎

(正解)

不運《ハードラック》と踊《ダンス》っちまったぜ ーあいうえお《アイウエオ》
ー俺のものは俺のもの《ジャイアニズム》 山田一太郎《たろう》

レッスン4……小説マクロ

以下の小説マクロ、脚本マクロは縦書き専用です。横書きで使いたい方は、適宜改造してください。

会話を終わらせて次へ進むときのマクロを、3種用意しました。手数省略にご使用ください。

ー				
∧	∩			
∨	∪	次行	「	□

「確定、改行して空白一文字 会話の次が段落改のとき

「確定、改行して「確定 会話の次がそれを受けた会話のとき

「確定、改行して次行へ 会話の次が地の文続きのとき

(例文練習) 以下のセリフを書き、それから次への展開を書いてください。

「これを見てくれ！」

一方大阪では万博が行われていた。

「これを見てくれ！」

「きやあー！」

「どうだ？」

「これを見てくれ！」

と、彼は大事なものを開陳した。

○	セリフ 切り	セリフ 接ぎ	× × ×	—
□□□	ト書き 切り	ト書き 接ぎ	—	∧
□	「」	次行	—	∨

【○】 シーンの柱記号です。「まる」で変換される文字です。
 【□□□】 空白文字3です。ト書きの字下げに使ってください。
 【「」×××】 時間経過記号です。同一シーン内で時間経過するとき、同一シーン内でフラッシュを挟むときにも使います。
 スペース3、「ばつ」で出る記号、スペース3、「ばつ」記号、スペース3、「ばつ」記号の文字列が入っています。

脚本の記法には2種あります。ト書きとセリフです。

ト書き……3文字字下げ。最初の行の1文字字下げなし。

セリフ……2行目以降のみ1文字字下げ。

この特殊記法は通常のエディタでは実現できません。プレーンテキストエディタで書く場合、空白文字や改行コードなどで調整することが多いです。

しかし削除や挿入するとレイアウトが崩れます。いちいち手で修正するのが面倒なので、連打するだけで修正できるマクロをつくりました。

【ト書き・切り】 「ホーム移動、改行、スペース3、左移動」のマクロが入っています。すなわち、「この行の前の行で終わることにして改行コードを入れ、冒頭にスペース3を入れ、次の行へ移動」をやっています。

これを連打するだけで、一連につながった文がト書き形式に整形されます。

【ト書き・接ぎ】 「ホーム、右移動、エンド、Del 4、左移動」のマクロが入っています。すなわち、「前の行にの文末に移動して、改行とスペース3を消してつなぐ。そして次の行へ移動」をします。

これを連打するだけで、ト書き形式のものを一連につながった文に戻せます。

切り

□□きらめく海。青い空。白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平和そのものが広がっている。

ト書き
切り
冒頭に改行コード+スペース3を入れて、前の行との関係を切り、次の行へ移動する。

□□きらめく海。青い空。白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平和そのものが広がっている。

ト書き
切り
冒頭に改行コード+スペース3を入れて、前の行との関係を切り、次の行へ移動する。

□□きらめく海。青い空。白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平和そのものが広がっている。

接ぎ

□□きらめく海。青い空。白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平和そのものが広がっている。

ト書き
接ぎ
前行文末へ移動、□□を4回発行して、次の行へ移動する。

□□きらめく海。青い空。白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平和そのものが広がっている。

ト書き
接ぎ
前行文末へ移動、□□を4回発行して、次の行へ移動する。

□□きらめく海。青い空。白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平和そのものが広がっている。

この二つを使って、ト書きの挿入や削除によって乱れたレイアウトを交互に連打するだけで修復できます。

挿入してレイアウト乱れ

□□□□ さらめく海と打ち寄せる波。 青い空。
 □□□□ 白い雲。風が渡り。 切り（べき行に移動）
 □□□□ り、鳥たちが飛び、平和そのものが広
 □□□□ がっている。
 □□□□ ト書き 行頭を切り離してト書き形式に。
 □□□□ 切り
 □□□□ さらめく海と打ち寄せる波。 青い空。
 □□□□ 白い雲。風が渡り。 前の行に接ぐ。
 □□□□ ト書き 接ぎ
 □□□□ さらめく海と打ち寄せる波。 青い空。
 □□□□ 白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平
 □□□□ 和そのものが広
 □□□□ がっている。
 □□□□ ト書き 以下くりかえし。
 □□□□ 切り
 □□□□ さらめく海と打ち寄せる波。 青い空。
 □□□□ 白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平
 □□□□ 和そのものが広
 □□□□ がっている。
 □□□□ ト書き 接ぎ
 □□□□ さらめく海と打ち寄せる波。 青い空。
 □□□□ 白い雲。風が渡り、鳥たちが飛び、平
 □□□□ 和そのものが広がっている。

削除してレイアウト乱れ

□□□□ さらめく海。 青い空。 白い雲。風が渡り
 □□□□ り、鳥たちが飛び、平和そのものが広
 □□□□ がっている。
 □□□□ ト書き 削除してレイアウト乱れ
 □□□□ さらめく海。 白い雲。風が渡り
 □□□□ り、鳥たちが飛び、平和そのものが広
 □□□□ がっている。 接ぐ（前に接ぐ）に移動
 □□□□ ト書き 接ぎ この行を前に接ぐ。
 □□□□ 切り
 □□□□ さらめく海。 白い雲。風が渡り、鳥た
 □□□□ ちが飛び、平和そのものが広
 □□□□ がっている。
 □□□□ ト書き 行頭を切り離してト書き形式に。
 □□□□ 切り
 □□□□ さらめく海。 白い雲。風が渡り、鳥た
 □□□□ ちが飛び、平和そのものが広
 □□□□ がっている。
 □□□□ ト書き 以下くりかえし。
 □□□□ 接ぎ
 □□□□ さらめく海。 白い雲。風が渡り、鳥た
 □□□□ ちが飛び、平和そのものが広がって
 □□□□ る。
 □□□□ ト書き 切り
 □□□□ さらめく海。 白い雲。風が渡り、鳥た
 □□□□ ちが飛び、平和そのものが広がって
 □□□□ る。

【セリフ切り】【セリフ接ぎ】 ト書きのスペース3の部分スペース1になっているだけです。

セリフの第2行以降に使ってください。長いト書きよりも長いセリフの方が多し、セリフはよく直すので、こちらのほうが良く使うかもですね。

慣れれば、M₁を押しっぱなしのまま、DFDF……ERER……のように連打で整形が可能になります。



薙刀式 固有名詞

作 大岡俊彦

を押しながら (逆手)

	きぬ	てり	しめ	
ろせ	けみ	とに	かま	ち
ほ	ひ	は	こ	そむ

	きぬ 天空の ファール コーン	てり 天 アルフ	しめ 神山	
ろせ	けみ ルミ ギツ	とに 蕪澤	かま 上山	ち ンチャ ンチャ
ほ	ひ	は 戸田	こ	そむ

それぞれのカナではじまる固有名詞などを登録すると便利です。
かぶる場合は隣へ移動するなど工夫してください。

	さ	るよ	すえ	へゆ
くや	あの	いも	うつ	ふ
たお	な	んね	らわ	れ

	さ	るよ	すえ りえり	へゆ
くや 山根	あの	いも	うつ	ふ 深町
たお	な	んね	らわ 渡辺	れ

【登録の仕方】 薙刀式 **vs16.exe** のファイルの中身の最後の部分を、直接書き換えてください。使用作品ごとにファイルをわけ、作品タイトルなどをつけておくと、掛け持ちしたり、過去作品を直すときに便利です。薙刀式「最終章」などです。別名保存して **Dvorak** に読み込ませると使えます。デフォルトには、脚本「最終章を先に描け！」の固有名詞が登録されているので、設定の参考にどうぞ。

物語文を書くとき、固有名詞を登録できると、いちいち変換から打たなくて便利です。固有名詞モードは、「薙刀式」そのカナから始まる固有名詞」を登録しておく使い方をします。「あ」の場所に「相沢」を登録するような使い方は、複数登録できないので、次に「アインシュタイン」を登録したい場合は、隣の位置に登録するなどしてください。カタカナ名を設定しても、出力はひらがなの仕様のようです。一度変換して **IME** に覚えさせると、変換してくれます。

一度登録すると、**Alt**を押しながら、または **Ctrl**を押しながらで呼び出せます。

固有名詞モード

第四章 全カナ解説

すべてのカナがなぜそこにあるか？ を解説します。薙刀式のより深い理解にご活用ください。

そもそも薙刀式の全カナは、すべてにおいて排他的配置を満たすように配置されています。すなわち、「二つのキー（表と裏）で、濁音になるカナは一つしかない」（濁音に関する排他的配置。これはTRONカナ配列、シン蜂蜜小梅配列でも採用）、「半濁音になるカナも一つしかない」（半濁音に関する排他的配置）、以下同様に、小書き、拗音、外来音もです。これらのすべてにおいて排他的配置というのは、カナ史上初めての配置ルールで、これを達成したカナ配列は薙刀式しかありません。それは、清音50を覚えるだけで、あとは同時押しなどで濁音、半濁音、小書き、拗音、外来音を出せる、という便利さを保証します。

その代わり、配字ルールが極めて厳しく、容易に適当な位置にカナを置けるわけではありません。しかしいろいろなカナをここに置くと、運指が続くぞ、という位置にカナを置くことで、薙刀式は早く、楽に運指することが出来るわけです。

【ある】【ない】【する】 最初に薙刀式が僕の頭の中にやってきたのは、この3大アルペジオからでした。カタナ式のA[↑]E[↑]O[↑]の3大アルペジオと同じ位置に、存在、非存在、行動、ということばの本質が入るな、と思いついたのがきっかけです。とくに「あ」という「言葉の最初の音」が右手人差し指ホームJにあるのは、かなりのこだわり。「あ」は頻度上Jという重要な位置に持つてくるほどのカナではないが、「第一の音」がホームにあるべきと思ったので。ではJを使わないかというところでもなく、濁音同時押しでJを結構使うため、Jを全キーで一番使うように頻度調整されてます。

【BS】【↑】【↗】 U位置のBSはカタナ式と同じ。ものを書くことは書き直すことでもあります。Writing is rewriting. 手書きと違って、デジタルのいいところはいくらでも直せると思うので、それを真っ先に使える位置に置きたいと考えました。U位置は利き手の人差し指をちょいと伸ばせば届くし、文字に使うには遠すぎるしで、とてもいい位置だと思っています。なんなら歴史上のすべてのBSの位置でベストなのでは？

カーソル、とくに候補選択がここにあるのは、これもカタナ式から。TYはとくに打ちにくい遠いキーだと評価しているので、文字を置かず、ひと問あけて使うキーなら入れてもいい、と判断。↑↓が入っていないのは痛恨だけど、カナを入れるだけで必死でした。編集モードで補ってください。

【た】 断定や過去の確定した事実の「だ」「た」は、カタナ式のエンターの位置がふさわしいと考えました。「そうだ」「だから」「した」などのときに右手人差し指がちょうどいい気持ちよさになると思います。

【う】 「いう」がアルペジオになる位置に。これで「あいう」という母音が横並びになり、親しみやすくなったので。

【ん】 「い」「う」「ん」が三大頻出カナですが、「ん」は否定によく使われるため、「ない」の脇に感じる感覚。肯定の人差し指に対して否定の中指、のようなイメージで配置しています。「なん」「たん」などがアルペジオで取れる位置でもあります。

あと、漢語熟語によくある、「ん」がアルペジオで取れる位置でもあります。

【ー】 全体頻度は0・3%とマイナーカナではあるものの、カタカナ語でもっとも出るカナという関係上、打ちやすいがそんなに使わない場所に入れました。小指ホームをいい位置と評価する人はいるが、そもそも難刀式は小指全体を減らしたい(2%)ので、ちょうどよい頻度だと思います。

【ら】 「なら」「たら」をアルペジオで取れる位置。「らい」「らん」も悪くない運指。

【れ】 「れる」「られ」をアルペジオで取れる位置。「られる」も悪くないです。

【く】 新下駄、新 SIS の真似をして、あまり考えずに決めました。「よく」「ゆく」の拗音用のアルペジオに考えていたけど、「いく」「くる」がともにアルペジオになるのでいい位置と思っています。漢語熟語の読みの2文字目は「いうんきくしつ」の8文字しかないので、これを右手に多く持ち、1文字目を左手に置くと熟語が楽になる、という発想は、親指シフトの頃からありますね。「ぎゃく」が同鍵連打になるのがイマイチなのは玉に瑕。

【か】 第一の主格の格助詞「が」がEJになるように配置しました。第一の音「あ」が右手ホームにあり、主格の「が」が左手ホームにあることから、音を右から出して左でつないでいく、という難刀式の思想の起点と考えたいです。

【し】【て】 「して」がアルペジオになるように配置。

長い中指は上段が届きやすいので、EIはともにおいしい場所。EJの左手が展開の要の「て」、Iの右手が動詞終わりの要の「る」であるのは狙いです。

【こ】【と】 「こと」がアルペジオになるように配置。

なお、繋ぎの助詞であるところの「て」「に」「を」「は」は全て左中指にあります。その中でも「と」は、何かをくつつける繋ぎの象徴として真ん中にいます。

【そ】 「これ」「それ」が並ぶような感覚で配置。「こ」「そ」はものを指し示す人差し指で取りたかったので、ここもこだわってます。

【は】 助詞で重要なため、この位置に。「には」「では」「とは」が縦連になるので、いろいろ動かしただけの歴史があるが、最終的に中指を信頼しよう、とここに落ち着きました。

【に】【を】 助詞で重要なものを左中指にまとめています。

【っ】 「って」「っと」がアルペジオになる位置に。

このあたりから、自由に置くのではなく、運指に気を付けながら排他的配置を満たすように置く必要が出てきたのです……

【ち】 拗音同時押しを調整しているときに「象徴」が打ちやすい位置に決めた。「ちよつと」「ちつとも」などは同鍵連打なのはちよつと辛いけど、定着してしまったので……。

【ま】 「です」「ます」が打ちやすい位置に。優遇しすぎという説もあるが、「まあ」がFJになる感じとかは嫌いじゃないですね。

【り】 「つまり」が連続シフトでアルペジオになるような位置に。

「きよう」「しょう」「りよう」が横並びになって、拗音が使いやすくなっているのも、わりといいと思っています。

【の】 助詞は左手が原則であるが、「の」「も」は右手の好位置に。これは左手のいい位置がもうないことと、負荷を左右に散らす為。「これの」「その」などの指さす感じが『つばいのが気に入ってます。』

【も】 「もう」「もの」がアルペジオになる位置に。

【お】 「おもう」がアルペジオになるように。

あいうえおの5母音、やゆよわの3半母音は、すべて右手という原則があります。拗音、外来音の操作の為です。

【え】 「える」がアルペジオになるように。「得る」だけでなく、「考える」がよい配置になるようになっていきます。

【よ】 最大の頻出接続「よう」がアルペジオになる位置に。「ような」もアルペジオになるのでとても良い位置だと思います。

【ゆ】 ベストとは思えないが、排他的配置を考えるとここかな。「ゆう」は打ちにくくはないが、頻度から考えるとそんなによい運指とは言えないが、だからといってもつといい位置が思いつかないままここにいます。

なお昔○位置にして「よ」と並べたら、区別がつかなくなるという現象が多発したので、わざと「よ」と離れた位置にしています。

【や】 同様に「よ」「ゆ」と離れた位置に。

「やる」がアルペジオになるのでとても良いです。ただ「逆」などで同鍵連打になるのはいまいち……。

【ろ】 「だろろ」「ろろ」がシフトなしで打ちやすくなるように単打にこだわっています。空いている位置で残っている単打で決めました。

【ほ】 「ほう」がシフトなしで打ちやすくなるように「ろ」同様の考え方。

【き】 「てき」「きて」がアルペジオになる位置に。「しき」もアルペジオになるので。

【い】【。】【エンター】 FJの下、VMになるようにしました。これを同時押しするとエンターになることまで含めて、文章のブロックの単位をこれで区切るイメージです。

【へ】 あまり使わなく、しかもへき地。ちょうどいいバランスかな。頻度から考えればシフトにして、もっと使うものをここに持つてくる手もあるんですが、他との接続もよくないので、薙刀式の最初期バージョンから動かさず定位置ですね。

【け】【せ】 け、せは同じ程度に出現して、しかも接続が似ている兄弟カナ的な立ち位置です。頻度的にこのへんが単打とシフトの当落線上になることが多いです。「け」が単打に、「せ」がシフトになったのは他との関係の問題で、特段理由はないです。なんなら逆でもいいけど、「せつ」が連続シフトできるので、「せ」はシフト側か。
「けど」「だけど」がアルペジオで取れるので、この位置はよい。

【ひ】 拗音になるカナで、濁音にも半濁音にもなり、半濁音拗音という特殊なものにもなるが、あまり頻度がないという中途半端なカナ。苦手な×位置に。裏にカナを置いてい

ないため、「ひつ」は連続シフトで打てる、という裏技があります。

【つ】 「ゆう」と同じ感覚で「ゆつ」が打てる流れです。

【わ】 ここがベストという理由はないが、悪くないのでここにいます。「くわ」もギリギリ打てるし。「れ」の裏にカナがないため、「われわれ」が連続シフト4連アルペジオで打てる裏技もありますよ。

【さ】 「さい」「さん」がアルペジオになるのでいい位置。「さつ」が連続シフトかつアルペジオになります。「ふ」と迷ってはいるけど、「ファ」がここだと打ちづらくなるので据え置きです。

【ふ】 ファ行を全部打ちやすい位置が難しいですね。「ふらふら」「ふわふわ」がかなりきついけど、ファ行優先で。

【み】 「やってみて」など、「て」との接続が多いため、そことアルペジオを形成できる位置です。v16の改造はここ以下の頻度のカナばかりです。「み」は「そく」が「みや」に化けるため、化けない位置に。ただし「ける」が「みよ」に化けます。それでも「そく」より被害が少ないと見積もりました。

【ね】 「ね」はバージョンを経るごとに動く厄介なカナで、一番さまよったカナです。「よね」「ね。」「ですね」「かもね」など、右手と連続シフトを形成することが多いです。今回はv15からv14の位置に戻しました。B裏に「ね」よりも頻度の低い「む」を移すためです。「ねん」が同鍵連続になるのは痛恨ですが、「ね。」がアルペジオになるため、とてもよいです。

【め】 消去法でここになっています。「ため」「めん」「めい」などが打ちやすいことを重視しました。

【む】 頻度ワースト2です。「動詞の終止形ウ段が『ぬ』以外すべて右手」の掟を破ってまで、「ね」を右手に移しました。これにより「む」の接続が打ちにくくなりましたが、「ね」のためと思って割り切っています。

【ぬ】 頻度ワースト1カナ。もともと打ちにくい位置にあります。

【コラム 脳内発声】

黙読で読書するときに、脳内で声がする人と、しない人がいるそうです。いろんな調査から、声がする人のほうが多いことがわかってきました。読書経験が豊富な人は、しない傾向が強いそうです（だから黙読が音声より速い）。

文字を書くときはどうでしょう。

コピータイピングの世界では、声がしないほうが早く打てると言われています。ということは、声がする人は多いのかもしれない。

自由に文を書いていく、いわゆる創作文ではどうか。僕は、脳内で声がしないタイプです。読むときも書くときもないです。読むときに声がする人、書くときにも声がする人が多いそうです。

脳内発声がある人は、「声のリズムで打てる」配列が向くと思います。親指シフト、飛鳥配列などは、とくにそれを意識してつくられています。あるいは、新下駄のような1モーラ1アクションの配列（薙刀式もそうですが）は、発音と打鍵のアクションの一致があり、爽快に打てると思います。

僕は、ローマ字を打っているときは、発音記号を見ているせいか脳内発声があり、苦痛でした。手書きのときは脳内発声がないのに、ローマ字タイピングでは声が聞こえて邪魔である。ある日カナ配列を使うと脳内発声がないことに気づき、僕はカナ配列に転向し、以来薙刀式への道へ入りました。

もし脳内発声がない人で、従来の配列が合わなかった人は、それが脳内発声ありの前提で作られた配列だったからかもしれない。薙刀式が合うかもしれないですよ。もちろん、脳内発声がある人にとっても、薙刀式は便利です。

【コラム 話題の語と繋ぎの語】

薙刀式はカナのつながりを大変なめらかにしている配列です。打ってみればわかると思いますが、よく使うフレーズがアルペジオや左右交互を中心とした、とても使いやすい指の流れになっています。

とくに他の配列では議論されていない、『繋ぎの語』をつなぎやすくしている」という点があります。文法用語にはこの言葉はなく、僕の造語です。しかし日本語の文法上の特徴をよくとらえていると思います。

日本語は膠着語という言葉に属します。格構造が存在し、語順で意味が決まる欧米の言語に比べて、順番の構造がなく、単語をくっつけていく（膠は昔の接着剤「にかわ」です）ことで、文をつくります。

その接着剤はなんでしょう。助詞、助動詞、接続詞、動詞語尾（活用）部分、複合動詞、助動詞活用部分、代名詞などではないかと思いました。これらを「繋ぎの語」と呼ぶことにします。

逆に、「繋ぎの語」でくっつけられるもの、名詞、形容詞や形容動詞や動詞の語幹部分を「話題の語」と呼ぶことにします。

つまり、日本語は、話題の語を繋ぎの語でくっつけ続けることで、構造のない文章を紡いでいく言語である、という風にとらえます。

話題の語は、話題や結論によって、毎回変わる言葉です。これらは統計や時の流行に準じるでしょう。これらをすべて打ちやすくすることは設計上不可能です。しかし繋ぎの語は有言個だから、それらを打ちやすくすれば、文章を書くことが高速で楽になるのでは？と考えたわけです。

たとえば助詞はほぼ左手に集めてあります。そして動詞や助動詞の語尾はほぼ右手に集めてあります。これによって、話題の語を左手で繋ぎ、最終的に右手に帰着して終わる、という大まかな流れを持つことができます。繋ぎの語を打ちやすくすることで、文章の流れをつくるのが容易になります。

薙刀式はカナ同士がアルペジオや左右交互で使いやすいだけではなく、「単語をつないでいくとき」が速く楽にできる、という配列です。

次第に高速打鍵になってきて、思考の速度で文章を書けるようになると、何かと何かをくっつけることが文章を書くことだ、という感覚がわかってくると思います。そのときに、話題の語は毎回変わるからそれを追求してもしょうがないけど、繋ぎの語が速いことで思考が加速する、という体験ができるでしょう。それこそが、薙刀式の狙いであります。

第五章 インストールの手順

薙刀式のオリジナル版は、Windows 専用の DvorakJ (AutoHotKey で書かれたスクリプト) 上で動くシステムです。他に色んなプラットフォームでの薙刀式が有志によって提供されていますが、あとでまとめることにして、オリジナル版のインストールの手順を示します。

DvorakJ は、.txt ファイルに配列を記述して、それを読み込んでキー配列を変えます。

英語用のファイル (qwerty+英語版編集モード)、日本語用のファイル (薙刀式 v16) を読み込ませて、各種設定すると完了です。

※ DvorakJ は開発、配布を停止しています。バグなどあっても更新されないことを了解ずみで、使用する分には自由です。

1 DvorakJ と薙刀式をゲット

DvorakJ: <https://blechnusik.xii.jp/resources/app/DvorakJ/archive/2014/06/> から、dj_2014-06-07.zip をダウンロード、右クリックして 7zip から解凍。

出来たフォルダを好きな場所において、DvorakJ.exe をダブルクリックして起動します。そのショートカットをつくってデスクトップに置いておくか、PC 起動のたびに起動する設定にしてください。

PC 起動のたびに DvorakJ を起動させておく方法

- 1 DvorakJ のショートカットをデスクトップに置きます。
- 2 そのアイコンで Win+R を押し、shell: startup と入れて OK
- 3 スタートアップフォルダが開くので、そこに DvorakJ のショートカットをドラッグアンドドロップ

この設定をしておくことで、DvorakJ が常駐することになります。(このフォルダからショートカットを削除すると常駐しなくなります)

DvorakJ はレジストリを変更しないため、フォルダごと USB にコピーして持ち歩けば共用パソコンからダブルクリックで起動できる便利ソフトです。

薙刀式: ブログ「大岡俊彦の作品置き場」 oookawoks.seesaa.net のトップに薙刀式のリンクがあります。以下のものをダウンロードしてください。

薙刀式 v16 快速版.txt 薙刀式英数 v16.txt

これらを **DvorakJ** が入っているフォルダの **user** フォルダ内に置き、以下の設定をしてください。

2 DvorakJ の設定

キーボード

入力全般

Sands など

待機と遅延

「Sands: [Space] → [Shift] の機能も担わせる」……オン
「無変換」＋「文字」と「変換」＋「文字」……オフ
日本語入力……0 ミリ秒程度（特に同時入力がないので）
キーを発行させるのに遅延する時間……5 ミリ秒
（使用環境によって異なります。これ以下だと同時押しが入りっぱなしになるバグに遭遇しやすい模様）

I M E 関連

I M E の状態を検出する間隔……速くするほど I M E の切替が速くなりますが、全体の動作は重くなります。僕は 500 程度に遅くして、切替を待つ代わりに全体を軽くしています。
その他……全部オフ

修飾キー関連

「修飾キーを押し下げている場合に QWERTY 配列を使用する」
Ctrl Alt Win……全部オン

直接入力

設定ファイル……user から「薙刀式英数 v16.txt」を選ぶ。
※ 英字のときに Qwerty 以外が使いたい方は、各自設定を変えてください。

直接入力用設定を一時利用する場合、変換候補窓を表示中……オフ

日本語入力

設定ファイル……user から「薙刀式 v16 快速版.txt」を選ぶ。
「日本語入力の設定／日本語入力配列を日本語入力時にのみ使用する」……オン

「[Shift]＋[文字]のとき／未設定のときには何も発行しない」……オン

その他

起動時の設定

ログオン時に DvorakJ を起動する……オン
DvorakJ 起動時に設定画面を最小化する……オン

ホットキー

DvorakJ 用のホットキーを有効にする……オン
実行を停止する S-C-0
実行を再開する S-C-1

3 IME の設定

Windows の設定から「前のバージョンの IME を使用する」を探し、設定してください。バージョンによってある場所が違うため、設定から検索すると早いです。

IME アイコン上で右クリック／詳細設定／全般／編集操作／変更を開き、「変換」に再変換をバイインドしてください。

これで Windows でつねに薙刀式が使えるようになります。ではよき薙刀式ライフを！

有志によるいろんなプラットフォームの薙刀式

【Windows】

○Kenichiro_ayaki さんによる色々な配列を使えるエミュレータ「紅皿」に同梱

https://qitta.com/kenichiro_ayaki/items/03ac81a20137c3d91554

○岡俊之さんの漢直エミュレータ「漢直 WS」に同梱

<https://github.com/oktopus1959/KanchokuWS>

【Mac】

○eswai さんの専用アプリ Benkei

<https://github.com/eswai/Benkei>

○Karabinar-Elements 版（バージョンが古くので適宜改造してください）

<https://kazuki-mizue.com/naginata-v15fix-r604-for-karabiner/>

【自作キーボード（Win & Mac）】

○eswai さんの QMK 薙刀式

後置シフト（前置シフトだけでなく、あとにシフトを押しても反応する）に対応。

https://github.com/eswai/qmk_firmware/tree/master/keyboards/crkbd/keymaps

/naginata_v13

と他の自作キーボードへの移植ガイド

<https://eswai.hatenablog.com/entry/2020/11/29/175116>

<https://eswai.hatenablog.com/entry/2019/12/09/001009>

○QMK 薙刀式の Keyboard Quantizer 移植版

https://github.com/eswai/qmk_bmp/releases/tag/naginata15pre1



薙刀式

v16 (快速版)

作 大岡俊彦

小	き ^ぬ	て ^り	し ^め	←
ろ ^せ	け ^み	と ^に	か ^ま	っ ^ち
ほ	ひ	は ^を	こ ^を	そ ^む
Shift Sp				

→	BS ^さ	る ^よ	す ^え	へ ^ゆ
く ^や	あ ^の	い ^も	う ^つ	ー ^ふ
た ^お	な ^の	ん ^ね	ら ^わ	れ
Shift Sp				

格子配列の配列図と、打ち方総覧

シフト



スペース押しながら (連続シフト可能)

濁音



逆手のキーと同時押し

半濁音



小書き



小と同時押し

拗音、外来音

使用カナ2つ同時押し (+ の最大3キー同時)

拗音

清音

し^よ = しょ

しゃしゆしよ きやきゆきよ ちゃちゆちよ にやにゆによ ひやひゆひよ みやみゆみよ りやりゆりよ

濁音

し^ゎ = じょ

じゃじゆじよ ぎやぎゆぎよ ぢやぢゆぢよ びやびゆびよ

半濁音

ひ^ょ = びょ

びやびゆびよ

外来音

清音

て^い = テイ

ティテュ トウ シュ チュ ツァウイウエウオイエ ファファイフエフオフ クァクイクエクオクワ

濁音

て^ゐ = デイ

ディデュ ドウ ジュ ゼ ヴァヴィヴエヴオヴ ヱ
ヅのみ例外: う' ー

エンター



同時押し

IME

英数 (Off): FG 同時 / かな (On): HJ 同時

※ 「同時押し」は相互シフト。「Aを押しながらB、Bを押しながらA」のどちらでもよい。
3キーも同様で、「重を問わず、3つが同時に押されている瞬間がある」でよい。